



月刊えるでは市民活動（NPOやボランティア、地域活動など）で活躍中の方々を少しずつご紹介していきたいと思っています。

これらの活動で出会える・ふれあえる・学びあえる、そしてつながるを応援します。

今月のイチオシ



「同伴避難支援チーム PET'Sおおむた」さん

令和2年7月6日に大牟田市で発生した集中豪雨災害を機に、ペットとの同伴避難支援を目的として発足した市民グループ（令和3年7月より市民活動団体）さんです。

～団体発足のきっかけ～

きっかけとなったのは、救助された高齢者の男性と一緒に避難できず置いてきた犬を保護して欲しいという一本の電話からでした。大牟田市にはペットを同伴できる施設が無かったため、ペットは残して避難するか、若しくは避難を諦めるかのいずれかの選択しか無い状態だったわけです。犬を保護して欲しいという声はその後も数件続きましたので、使用されていない愛護センターを一時的にでも利用させてもらえないかと市に相談しましたが、建物の老朽化等の問題がありこれも結果的には叶いませんでした。しかし相談されたからには何かできることはないかと、ペット同伴避難施設の開設を求め、署名運動を始めました。使われていない公共施設の開放ができないか、避難情報の中にペット避難の情報も載せられないかなど、大牟田市の防災危機管理室と何度も話し合いを重ね、令和3年5月にはペット専用避難施設の設置が実現しました。

施設を確保するという最初の目標はクリアしましたので、今年度は第2のフェーズである同伴避難施設の運用のための準備に向けて頑張っていきたいと思っています。

～防災勉強会について～

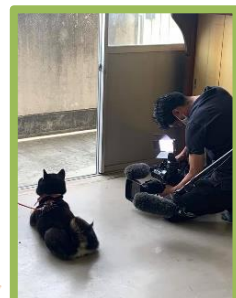
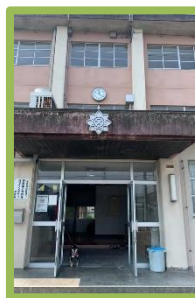
いざ災害が起きたとき、飼い主さんは落ち着いて避難行動ができるのか、必要な備蓄品は、避難所へ安心して連れていけるしつげができていいのか、とペット同伴避難者や受け入れ側の勉強会の必要を感じ熊本で被災し、ペット避難受け入れを経験された方々を講師に迎え、防災学習講演会を開催しました。



～避難所を視察して～

みんなで作ろう「おおむたモデル」

同伴避難が可能となった旧駛馬南小学校を視察しました。当たり前ですが、何の設備も無い教室。今ここに、複数の避難者とペット達が避難してきたとしたら…。同伴避難生活を余儀なくされた避難者とペットたちのストレスを最小限に抑えるためには①行政ができること②飼い主さんたちができること③私たち市民（ボランティア）ができることそれぞれが、それぞれの立場でできることを最大限にやっていくしかないのだと思います。



～今後の活動について～

令和3年9月26日より

「プロから学ぶペットの避難術」

と題しまして、いつでも一緒にいるための3連続講座を開催します。3回の講座すべてに出席できる犬を飼育している方、もしくは今後同伴避難支援活動にご参加いただける方を募集します。参加費は2000円／3回となります。問合せ先よりお申し込みください。またPET'Sおおむたの会員も募集しております。ご興味のある方はぜひ問合せ下さい。



問合せ・申込先：0944-85-7270(Ruu)

Facebook：同伴避難支援チームPETS'おおむた
LINE ID：@075ggqyq